

「千葉県子どもの読書活動推進計画(第四次)(案)」に関する意見募集の結果について

1 意見募集期間

令和元年12月20日(金)～令和2年1月8日(水)

2 意見の提出状況

- (1) 意見提出者数 6人
- (2) 延べ意見数 21件
- (3) 提出方法 電子メール 3件 FAX 3件

3 提出された主な内容

(1)第三次計画の分析について 6件

内訳 [・分析の不足 5件 ・県への支持 1件]

(2)基本理念について 5件

内訳 [・「読書県『ちば』」 2件 ・第四次計画のイメージ図 1件
・基本理念の説明 2件]

(3)具体的な取組について 8件

内訳 [・取組への賛成、共感 3件 ・朝読書 2件
・リーフレット 1件 ・発達段階 1件]

(4)推進計画全体に関する意見 2件

内訳 [・計画への賛成、共感 2件]

4 意見の概要と県の考え方

(1)第三次計画の分析について

・分析の不足

評価指数に関するこまかい分析ができていないところがある

→分析結果の記述について、検討を進めていく。

(2)基本理念について

・「読書県『ちば』」

「読書県『ちば』」をアピールし、他県とはちがう政策を打ち出してほしい

→「読書県『ちば』」をアピールします。第四次計画では、県独自の取組についても推進していく。

・第四次計画のイメージ図

「家庭・地域・学校」の連携図に行政が入っていない

→「行政」を加える。

・基本理念の説明

ア「本の必要性」を「本の魅力」または、「本の大切さ」に変更できないか
イ「その人々がもっている知識・情報・技能・思い・人間性」の「人間性」を削除
できないか

→基本理念の趣旨を踏まえ、記述内容を検討する。

(3)具体的な取組について

・朝読書

「朝の読書」の取組や「一斉」という言葉は、強制的な取組であり、基本理念の趣旨を踏まえるとふさわしくないのではないか

→「朝の読書」については、本に触れる機会の一つと捉えており、その取組が充実している学校は多い。「朝の読書」でしか本を読まない子どももいるので変更はしない。「一斉」という言葉については、検討する。

・リーフレット

リーフレット「おすすめ本100選」のバージョンアップをお願いしたい

→令和2年度から5年間で刷新する予定である。

・発達段階

読書への関心を高める取組の趣旨を考えて、「発達段階」という言葉を「成長段階」と変えられないか

→国の基本計画に基づき「発達段階」とする。

(4)推進計画全体に関する意見

・計画への賛成、共感

全体的な内容・構想・構成が見事なほどによく整理された推進計画である

→今後も子どもと本をつなぐ、子どもの本でつながる読書活動を推進していく。